

埋設

交差点部の埋設専用連続基礎

交差点用

基礎高 300 mm
必要最低延長 5 m で
防護柵設置を可能にします



参考必要延長一覧表

衝突条件	衝突荷重		現場打	交差点
B種 C種	30 kN	断面		
計算上の必要延長			5m	5m

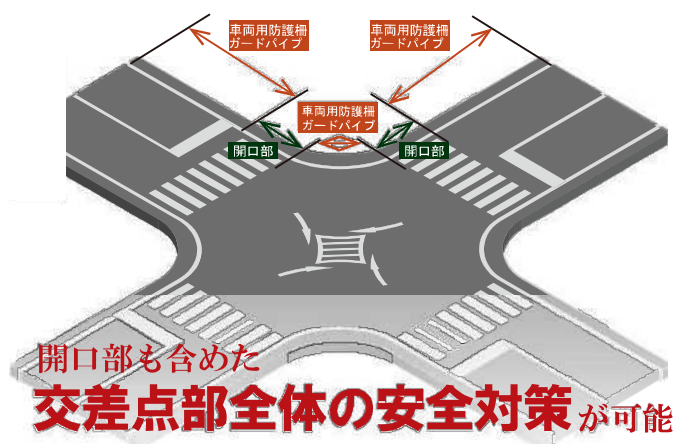


動画でよりわかりやすく！

交差点の安全対策の御提案

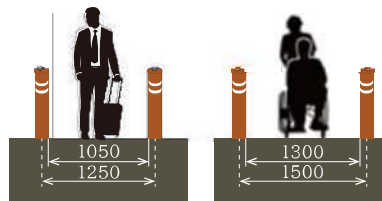


基礎設置例



開口部

※歩行者などの通行を考慮した有効幅 1.0m以上の間隔を推奨します。



ガードパイプ



規格一覧表

規格	基本	端部A	端部B
形状			

規格	B	B1	B2	H	H1	H2
L=2.0						
L=1.5	1105	400	705	300	145	145
L=1.25						
L=1.0						

規格	B	B1	B2	H	H1
L=2.0					
L=1.5	1105	400	705	300	145
L=1.25					
L=1.0					

規格	B	B1	B2	H	H1
L=2.0					
L=1.5	1105	400	705	300	145
L=1.25					
L=1.0					

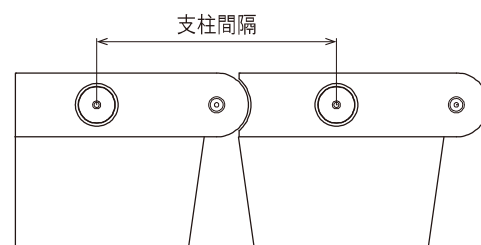
規格	L	L1	L2	L3	L4	L5	重量 (kg)
L=2.0	2400	1000	1000	1785	1585	2060	1157
L=1.5	1900	750	750	1285	1085	1560	828
L=1.25	1650	625	625	1035	835	1310	662
L=1.0	1400	500	500	784.5	584.5	1060	497

規格	L	L1	L2	L3	L4	L5	重量 (kg)
L=2.0	1700	1000	500	1363	1263	1360	895
L=1.5	1450	750	500	1113	1013	1110	730
L=1.25	1450	625	625				
L=1.0	1000	500	300	662.5	562.5	660	434

規格	L	L1	L2	L3	L4	重量 (kg)
L=2.0	1700	1000	500	1422	1322	900
L=1.5	1450	750	500	1172	1072	734
L=1.25	1450	625	625			
L=1.0	1000	500	300	772	662	439

各規格組み合わせによる支柱間隔

組み合わせ	支柱間隔
L=2.0 + L=2.0	2.0m
L=2.0 + L=1.5	1.75m
L=2.0 + L=1.25	1.625m
L=1.5 + L=1.5	1.5m
L=1.5 + L=1.25	1.375m
L=1.25 + L=1.25	1.25m
L=1.25 + L=1.0	1.125m
L=1.0 + L=1.0	1.0m



3種類の長さ規格の組み合わせにより
現場条件に合わせた設置を可能とします



試験方法：交差点用自在R連続基礎（L=1m）
単独基礎に高強度車止めを設置し
車両を衝突させる

試験条件：車両重量 1.17 t
車両速度 45 km/hr

※積水樹脂社『プロテクトボード』を設置して実施

実験結果

車両は車止めにて制止し、
基礎に安全を害する破損・変異無し



実車衝突実験の様子は
YouTubeにて確認できます

交差点用自在R 衝突実験

検索

